

2013年3月7日

各位

DAIKYO 株式会社 大京

災害に強いライオンズマンションに向けた新たな取り組み マンション共用部分の災害時対応を強化

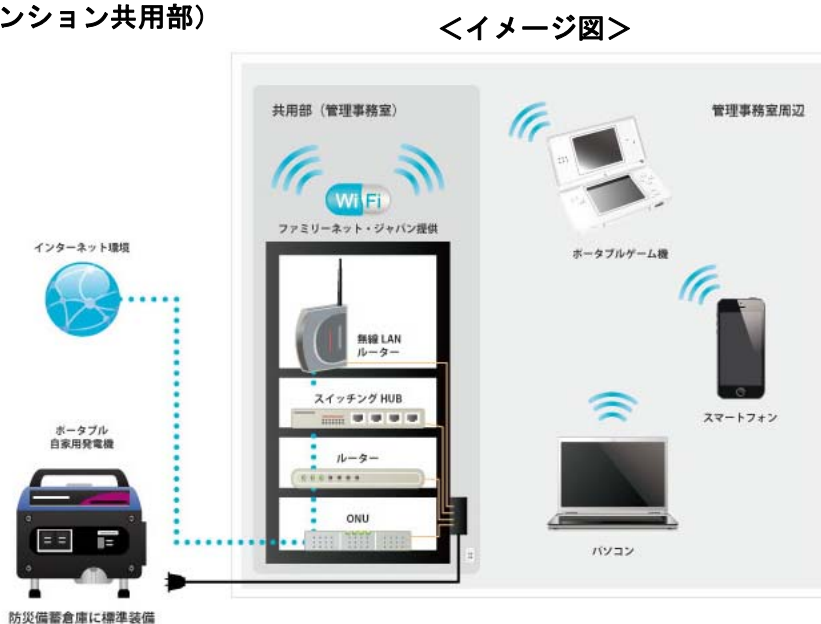
株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口 陽、以下「大京」）は、以前より災害に強いマンションづくりに努めておりますが、このたび、新築ライオンズマンションの設計基準にマンション共用部分について、災害時対応機能を新たに追加し、災害に対するライオンズマンションの更なる強化を図ることといたしましたのでお知らせいたします。

大京グループでは阪神・淡路大震災や東日本大震災以降、マンションの防災備蓄品の増強や自家発電設備の導入など災害に強い商品づくりをしてまいりました。また、当社グループが管理するマンションにお住まいの方の声に学び、その声をカタチにしてまいりました。今般、更なる災害に向けた取り組みの一環として、従来の設計基準に共用部分の災害時対応機能となる管理事務室への IT (Wi-Fi) 設備導入などを新たにに加え、今後の新築ライオンズマンションに標準仕様として導入することといたしました。

■ 災害時対応強化内容について（マンション共用部）

IT (Wi-Fi) 設備を整備

管理事務室にあるインターネット関連設備の 19 インチラック設備に新たに Wi-Fi 用無線 LAN ルーターを設置。平常時に IT 環境を整えるだけでなく、停電時には Wi-Fi 用のコンセントをポータブルの自家発電機（または蓄電池）に繋ぎかえることでその環境を確保します。最新の災害状況などの情報を取得するなど災害時対応力を強化します。



自助を強化するしくみを提供

従来、管理事務室の鍵は管理組合理事長のみにお渡ししておりましたが、災害時に理事長を含め当社グループ社員や管理員ともに対応できないことも想定されるため、このたび管理事務室の鍵を管理組合理事以上の役員が全員で共有、自主的に運営できるしくみを新たに提供します。

＜参考：災害対策に備え、過去に設計基準に追加した内容＞

- ◆ 自家発電設備の導入
- ◆ 防災備蓄品の導入・増強
- ◆ 液状化マニュアルの策定など

LIONS SAFETY ACTION

■ ライオンズセーフティアクションについて

大京グループでは、過去に蓄積されたナレッジやグループ力を活かすとともに、お客さまの声を基にした様々なライオンズマンションに関わる商品やサービスの企画、建物の基本コンセプトの策定など進めてまいりました。今までの大京グループにおける「防災」に関する基本コンセプトについては「LIONS SAFETY ACTION（ライオンズセーフティアクション）」として、「つくる」、「守る」、「つなぐ」をキーワードに取り纏めています。今回の内容は、このライオンズセーフティアクションをより一層充実させ、更なる先進的な取り組みであり、お客さま満足度の向上に繋がります。



■ 大京グループの災害時対応（ニュースリリース）

・【大京】

停電時にエレベーターを稼働させるための自家発電設備を導入
災害時に備えて防災備蓄品の内容を大幅に増加

<http://www.daikyo.co.jp/dev/files/20110613.pdf>

・【大京】

災害に強いマンションに向け設計基準を強化
液状化対策マニュアルを策定

<http://www.daikyo.co.jp/dev/files/20110707.pdf>

・【大京、東芝エレベータ】

大京と東芝エレベータが非常用電源（蓄電池）を搭載したマンション用
エレベーターシステムを共同開発

<http://www.daikyo.co.jp/dev/files/20120208.pdf>

・【大京アステージ、ジャパン・リビング・コミュニティ】

マンション管理組合向け「震災対応サポートブック」を作成・配布
～管理組合が継続的に取り組めるしくみを提供～

<http://www.daikyo.co.jp/dev/files/20120209.pdf>

・【大京、大京アステージ】

災害時のマンション生活の安心に向けたパッケージ商品
～マンション居住者向け「防災ボックス」を開発～

<http://www.daikyo.co.jp/dev/files/20121012.pdf>

◆このニュースリリースに関するお問い合わせ先◆

株式会社大京 広報室（飯田、今福） TEL：03-3475-3802